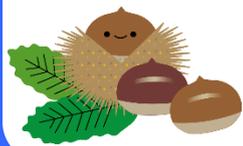


やまのうち通信



第 173 号

令和 3 年 9 月 20 日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
TEL・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

これだけは知ってほしい教訓
自分らしく生きるためには失
うものもある
—シャーリーアボット—
(アメリカ女性作家)

「定住促進プロジェクト(空き家活用)だよい」

山内小学校の子どもたちが山内の良い所探しをしていて、こう呟いたそうです。

『空が広い 山内!!』と。「あ～～なるほど!!」と私たちは感動しました。穏やかな丘陵、比婆連山まで広がる空!! だからかもしれません。



今年度は更に「山内に住みたい、空き家はありますか?」というお声を多くいただくようになりました。これまでの親子連れの家族の希望に加え、以下のような新たな特徴がありました。

- ◎若い独身男性・女性の方々
- ◎庄原に既に住んでおられる方々
- ◎無農薬・減農薬で農業をしたいと田畑を求められる方々
- ◎退職後第二の人生の出発地を探す方々
- ◎賃貸希望の方々

現在 11 軒の移住・定住希望をいただいています!! 大変嬉しい限りです。

しかしながら田舎の家は大き過ぎたり、田畑がない物件や、学校からの距離などマッチングには悪戦苦闘しています。

また緊急事態宣言が 30 日まで延長になり、今月も遠くにお住まいの空き家提供希望の方々が帰郷いただけない事態が続いていますが、田園回帰の願いをつなぐ為アンテナを張り、頑張ります。

引き続き、親戚・近所の方々・友人の皆様等の空き家情報をぜひお知らせください。これからも地域の皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

「山内ふるさと祭り開催中止のお知らせ」

今年度も、ふるさと祭り実行委員である各団体の皆様へ、「ふるさと祭り開催についてのアンケート」調査を行いました。アンケートの結果、今年度のふるさと祭りの開催を中止することが決定いたしました。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、安心してふるさと祭りを開催できる環境が整うことを願っています。

ふるさと祭り実行委員会

皆さんはパソコンやスマホでゲームをしたことはありますか。コロナ禍で外出自粛もあり、今までやったことがないけど始めてみた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし在宅で過ごす時間も増えている中、気分転換程度でなら良いのですが、パソコンやスマホを使って行うオンラインゲーム（以下ゲーム）に熱中する余りに起きる弊害あることをご存じでしょうか。これらはアルコールやギャンブルのように「ゲーム障害」として、依存状態を起こすことが判っているのです。



ゲーム障害は、ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり日常生活に支障が出る病気です。厚生労働省の調査では「ネット依存」が疑われる成人（推定約 421 万人）のうち約 90%がゲーム障害でした。ゲーム障害では脳に異常な反応が起こり、いつもは優位である「理性」をつかさどる脳の「前頭前野」の働きが悪くなり、「本能」「感情」をつかさどる脳の「大脳辺縁系」に支配されます。それはアルコール依存やギャンブル障害の脳の異常反応と同じで、異常な反応が起こると「ゲームをしたい」「遊びたい」という衝動的な欲求に支配され、ますます依存状態から抜け出せなくなっていくます。

特に未成年は脳の「前頭前野」の働きが十分に発達していないために、将来にわたって影響が続く可能性があります。

以下のような兆候が見受けられるときは、注意が必要です。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・ゲームをする時間がかなり長くなった | ・夜中までゲームを続ける |
| ・朝起きれない | ・絶えずゲームの事を気にしている |
| ・ほかの事に興味を示さない | ・ゲームのことを注意すると激しく怒る |
| ・使用時間や内容などについて嘘をいう | ・ゲームの課金が多い |



そして、注意をしても改善できない場合はゲーム障害が疑われます。

しかしゲームに依存している原因は複雑で、特に生きづらさを感じている人が「自分の“居場所”として」ゲームから離れられないケースも判っており、単純にゲーム時間を減らす、ゲームをやめるというものでは解決できないところもあります。次回はどのようにゲームと向き合っていければよいかを考えていこうと思います。

参考資料：NHK きょうの健康「こころの病気 総力特集「ゲーム障害」

相扶の郷相談支援事業所 正畑 知里

9月環境パトロール隊



9月4日実施
(右から)三橋豊さん・塚本邦彦さん・金子久則さん

9月アダプト活動報告



9月5日実施 国兼川土手
日向自治会 若宮班・池内班のみなさん

「山内小学校と山内保育所の環境美化ボランティアを行いました!!」



写真撮影のために、マスクをはずしています



今年度は広島県で緊急事態宣言が発令されたことで、山内小学校 PTA が毎年夏休みに行っている環境美化活動が延期となっていました。そこで心ある人達が声を掛け合い、子どもたちのために何とかいい環境をつくらせようとして、9月4日(日)地域の有志 15 名がボランティアで、小学校校庭など周辺の環境整備を行いました。

また、9月12日(日)には山内保育所園庭などの環境整備を行いました。(ボランティアの方々には、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら作業を行っています。) 小学校児童のみなさんと保育所のみなさんが、さわやかな環境で小学校・保育所生活を過ごしていただければと思います。

環境整備に参加して下さった地域の皆様、ありがとうございました。



写真撮影のために、マスクをはずしています

おくりもの

◆香典返し

8/11~9/12

殿垣内町 酒谷昌秀様 (故 季男様)

平和町 奥田昇様 (故 八重子様)

ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。



山内地区社会福祉協議会

10月 予定

- 12日 ふれあい給食
- 14日 健康寿命向上セミナー 10時~
「運動機能向上+フレイル予防」教室
- 20日 自治会長会
- 26日 ふれあい給食

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となることがあります。



9月アダプト活動報告

●地域の環境整備 (年 4 回) を行っています



↑アダプト平和金田線



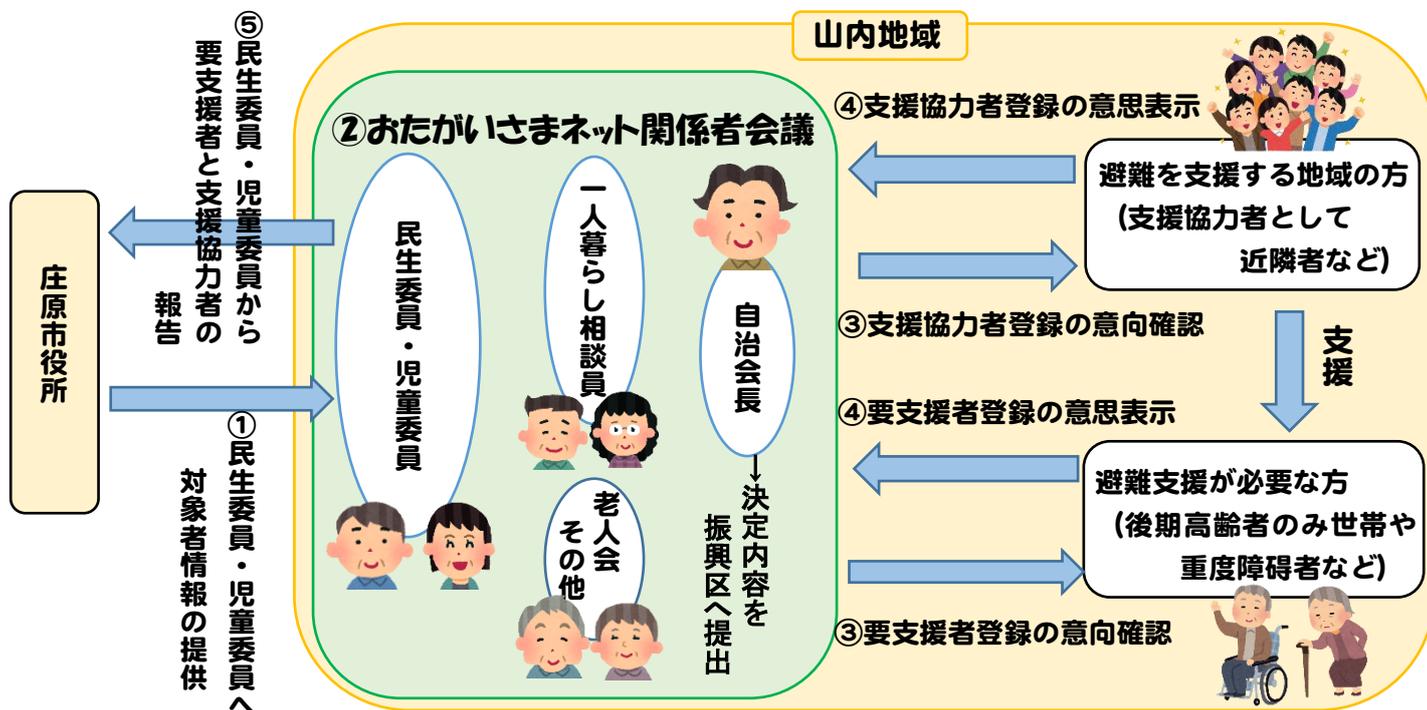
↑アダプト国道 183 号線

おたがいさまネット

「支援対象者の把握と支援協力者の名簿作成について」

庄原市では、「災害時の避難が必要なときに家族の支援が得られない方や、家族の支援だけでは避難が困難な方を、地域の助け合いで安全・確実・迅速に避難場所に誘導（移送）する」支援事業が取り組まれています。この事業においては支援対象者の把握と支援協力者の選定・同意が必要になりますが、現在各地域において第9期の把握調査が進められています。

この作業は市から渡される情報を元に各地域の担当民生委員が担うことになっていますが、山内地区においては、この事業とほぼ同等の取り組みを「一人暮らし高齢者等の見守りと災害時の避難支援」を目標に「おたがいさまネット」の活動の中で進めてきました。自治会ごとに自治会長をはじめとする関係者が情報を持ち寄り、「誰を誰が避難支援するのか」を協議・決定します。（おたがいさまネット関係者会議）



中山間地域では身近な地域の様子はそこに住む住民がよく知るところであり、「危険箇所に住んでいるか」や「自力避難の可否」などの、支援が必要な対象者の情報は自前で集めることができます。従って個人情報を含んでいるため守秘義務の掛かっている市からの情報に頼ることなく支援体制を組んできました。このことを踏まえて各「おたがいさまネット」では関係者会議を開催して、要支援者・支援協力者の名簿の新規登録・更新等の作業を行なっていただきたいと思います。

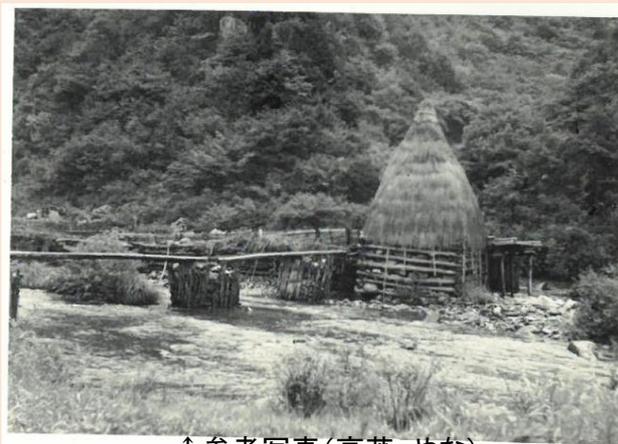
地域マネージャー 三上智道

「昔の写真を募集しています！！」 -山内郷土史研究会-

現在、山内郷土史研究会では戦前・戦後の写真を一冊の写真集にして後世に残したいと思い活動しています。写真をお持ちの方や、写真を持っておられる方をご存じの方は、山内自治振興センター（電話番号 0824-74-0451）まで情報をお寄せください。昔の行事や、風景などなんでも結構です。

例えば、以下のようなものです。皆様からの情報をお待ちしております。

- 昔の山内駅、駅周辺の風景、蒸気機関車
- 国道 183 号線、尾引から長橋までの沿線風景、商店街、ボンネットバスなど
- 昔の田園風景、田楽、苗取、田植え、牛による代掻き、稲刈り、はで作りなど
- 山内西農協の写真、農協近隣の風景、農協施設の写真
- 昔の役場、森林組合などの写真
- 現在の位置にある山内小学校以前の小学校の写真
- 各神社の祭り、お寺の行事
- その他（西城川での川遊び、やな、山王さん、家で行われた結婚式など）



↑ 参考写真(高茂:やな)